

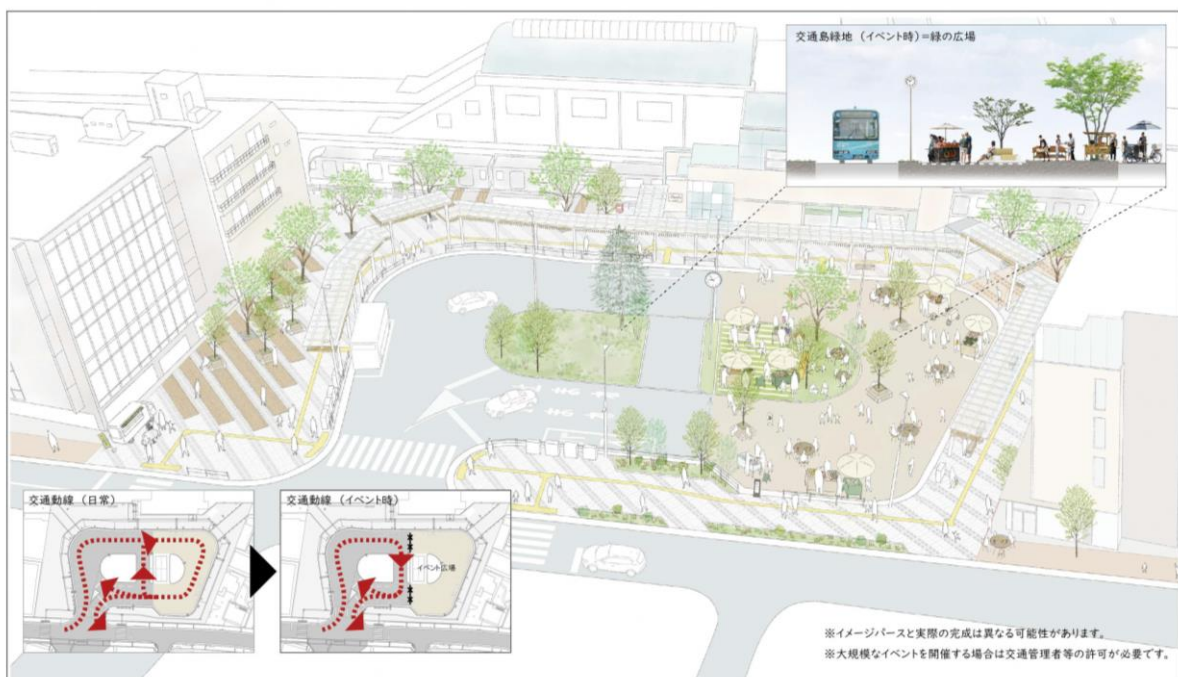
田無駅南口交通広場の整備イメージを検討しています

1 田無駅南口交通広場の検討状況について

令和5年10月に交通広場の整備イメージに関する展示会を開催し、デザインや、駅前の特性を活かした空間づくりについて提案しました。

今後はいただいた意見を基に、令和6年の公表に向けて検討していきます。

＜整備イメージ（案） イベント開催時＞



① みどりを感じられる交通広場

みどりを交通広場全体に配置し、木陰の下でくつろげる「公園のような交通広場」やシンボルツリーを植栽し「シンボリックなみどりの交通島」を目指します。

② 日常的な賑わいを生み出すイベント広場

歩道部分はキッチンカー等の乗り入れが可能な舗装構造とし、日常的な利用でも小規模なイベントが行える広場を目指します。

③ 大規模なイベントが開催可能な交通広場

大規模な催し等を行う際は、交通広場の一部を車両通行止めすることにより、歩行者専用の空間を確保する仕組みを考えています。

資料のポイント

- 田無駅南口交通広場を整備することにより、駅周辺での交通結節機能及び防災機能の向上、コミュニティバスの乗り入れによる田無駅南部地域から鉄道駅へのアクセス強化、歩車道の分離による歩行者・自転車等の通行の安全確保を図ります。
- 田無駅南口については、平成 29 年度に交通広場の事業認可を取得、令和 4 年度に事業認可期間を令和 9 年度まで延伸し、令和 5 年度末の用地取得率は約 87%を見込んでいます。
- 事業実施に向けた設計を進めるにあたり、令和 4 年度に庁内検討委員会を開催し、各部署で必要となる施設や設備等の意向確認を行い、整備イメージ(案)を検討してまいりました。その後、令和 5 年 3 月末に事業用地内に看板を設置し、庁内で検討した整備イメージ(案)について情報提供を行うとともに、意見等を把握するための、アンケート調査を実施しました。
- アンケート調査では、交通広場内に求める「施設」や「まちの雰囲気・イメージ」等の意見が多い結果となり、令和 5 年度は、それらを反映した修正設計を行うため、プロポーザル方式で業者を選定し、検討を進めています。



※模型と実際の完成は異なる可能性があります。

都市計画道路 3・4・24 号田無駅南口線交通広場整備イメージ模型